

り全工場ノ友愛会所属大坂造船工組合ノ中心ニシテ全員約
八百名ヲ算シ五月廿七日(公休日)全組合長西尾市廣(大坂
聯合会主務)其他主ナル幹部員竹内保 松林留久 黒木
百俊 平井久外約三十名及法学博士今井志幸等市内
南区天王寺伶人町大塚社会問題研究所ニ會合シ密議
ヲ凝シ其ノ結果十一項ヨリ成ル要求事項ヲ物定シ尚実行
ノ委員十八名ヲ選シ全委員就一議深更ニ及リ、翌夜今井
博士ハ此際柔順ノ態度ヲ執ルハ予ニアラスト激励セル趣ナリ
趣テ十日の職工ノ通事等ノ如ク出勤シタル者実行ノ委員等ハ
午後四時ヨリ退社職工ヲ途ニ權シ前日物協定セル要求書
(印刷物)ヲ配付シ之カ積員同ヲ求メ同時ニ結束事ニ當リサル
可メヲサレテ力説スル所アリ畧一般(組合以外ノ)ノ同意ヲ得
タル上今日午後十時迄代表者松林(男外)名ハ全工場所長

永田三郎ヲ訪問シ五名中ハ大島良一(山手町)七ノ西名面接
シ別紙要求事項ヲ嘆願書トシテ提出シタルカ當時所長ハ
前記「蕪多」號中止ノ事実ナキト云フ述ハ尚續クテ注文ヲ
引請クハキ見込ニテ夜業廃止其他ノ差操ニ依リ事業継
續ノ計劃ナレハ職工解散ヲ行フノ意思ナキト云フテ全社
ノ経営方針ヲ繰述セシカハ代表者納諒解スル所アリシモ
免ニ由該要求書ニ對シテハ未ハ六月二日正午迄ニ回答シ
テハラシムトテ辭セタリ

嘆願條項

右造船労働組合ノ友愛会中最近過度ナル戦闘的組合
ニシテ最近発生ノ争議ニ對シ(例)其セサルナキノ状況ニ在リ

○ 団体交渉権ノ確認